

特集 **ありのママで**— ~不安のない子育て環境を目指して~

名張版ネウボラ ~妊娠・出産・育児の切れ目のない支援~

市では、フィンランドの子育て支援制度「ネウボラ(※脚注)」を参考に、妊娠・出産・育児の切れ目のない相談・支援の場やその仕組みを作りながら「名張版ネウボラ」として、さまざまな事業を展開しています。

産前・産後の支援を強化

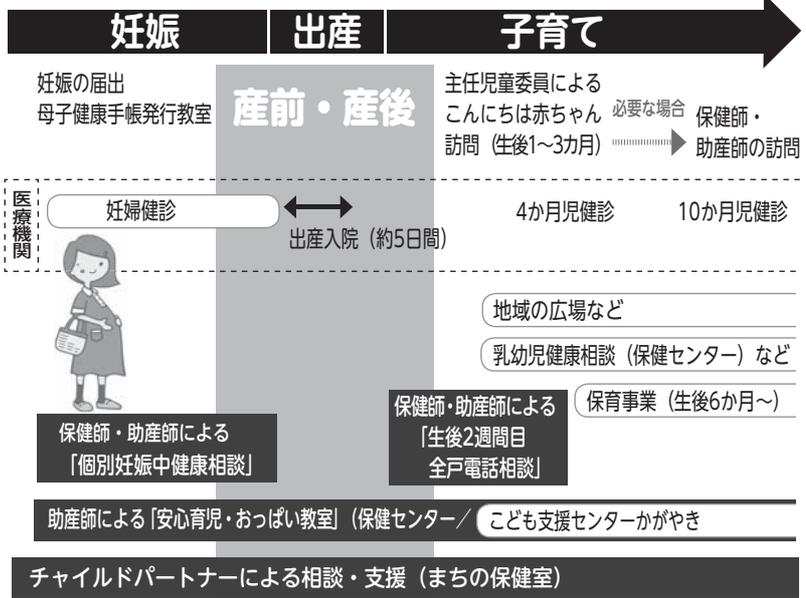
これまで市は、妊娠の届出を受けた後、生後1カ月以降に主任児童委員が乳幼児住宅全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」で、妊産婦と関わる機会がありました。そこで、市では産前産後の支援を強化し、安心して出産・子育てできる環境を整備するために、フィンランドの子育て支援制度「ネウボラ」を参考に、妊娠・出産・育児の切れ目のない相談・支援の場、またその仕組みを作っています。これを「名張版ネウボラ」と呼んでいます。

市内全15地域には、福祉の専門職員(看護職、介護職)を配置し、子どもから高齢者までの身近な相談窓口としてまちの保健室があります。名張版ネウボラでは、まちの保健室職員を、妊娠から出産・育児まで継続的に相談支援を行う「チャイルドパートナー」に位置付けています。現在、モデル的に鴻之台・希中央地区の職員が「チャイルドパートナー」として活動しています。

今後、他のまちの保健室職員も、研修などを経て、「チャイルドパートナー」として、活動していく予定です。

助産師による相談を開始

「こんにちは赤ちゃん訪問」でのママたちへの聞き取りの中で、出産前の心配事として、「おっぱいが出るか心配だった」などの意見が多くありました。そのため、保健センターで、母子健康手帳発



名張版ネウボラ ※出産・乳幼児期
本年度からの取組み

行日と合わせ、助産師による相談「安心育児・おっぱい教室」を開催。こども支援センターかがやきでも、毎週水曜日と木曜日に開催しています。

また、出産を終え退院したあと不安を抱きやすいときに保健師や助産師が電話を掛ける「生後2週間目全戸電話相談」を実施。相談できる機会を増やしています。一方で、体調不良を訴える妊婦

や、電話相談などで不安が大きい妊婦には、保健師や助産師が個別訪問し相談を行う「個別妊娠中健康相談」で対応しています。

こうした産前産後の取組みを、保健師や助産師が「母子保健コーディネーター」として、これまでの子育て支援とつなぐたり、支援者同士の連携を図ったりすることで、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を目指します。

育児を応援する施設

身近な保育所(園)での子育て支援 マイ保育ステーション

赤目保育所/赤目町 448-3 ☎ 63-2803
昭和保育園/丸之内 67-10 ☎ 63-1767

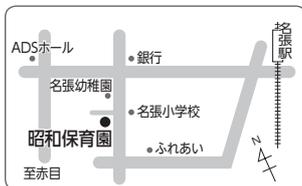
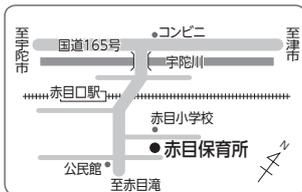
赤目保育所・昭和保育園では、おもちゃや絵本などを用意しています。1年に1度、半日の無料保育体験が利用できます(1歳以上)。

対象 市内在住で、母子健康手帳の交付を受けた妊婦、未就園児とその家族

開館時間 午前9時~午後4時(平日) ※行事などにより変更する場合があります。

初回の持ち物 印鑑、母子健康手帳(妊婦)

◎登録・利用料は無料



子育て全般を支援 こども支援センターかがやき

桔梗が丘西 3-3-107 ☎ 67-0250

親子と、親同士のコミュニケーションの場を設けたり、育児についての相談を受けたりさまざまな子育て支援を行っています。

対象 市内在住で、乳幼児の家族や18歳以下の児童・生徒
開館時間 午前9時30分~午後5時 ※休館日は、日・月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは翌日休館)、年末年始 ◎登録・利用料は無料

安心育児・おっぱい教室 妊婦さんも Welcome ◎参加無料
妊娠中の生活や、育児のちょっとした疑問を助産師がお答えします。

開催日 水曜日・木曜日

◆午前10時~11時30分

和室でほっこりおしゃべりタイム

◆午後1時~2時 個別相談

持ち物 パスタオル1枚、フェイスタオル2枚 母子健康手帳



(※) ネウボラ…フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味します。かかりつけの保健師が中心となり、産前・産後・子育てを切れ目なく支援する制度



妊娠中からまちの保健室に相談に来ていたママが産産報告

鴻之台・希央台地区 まちの保健室 ☎63-0805

開室時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

所在地 鴻之台1-2 (中央ゆめづくり館内)

◎他の地域のまちの保健室について詳しくは、地域包括支援センター (☎63-7833) へお問い合わせください。

チャイルドパートナー

鴻之台・希央台地区 まちの保健室
三永 拡子 (看護師)



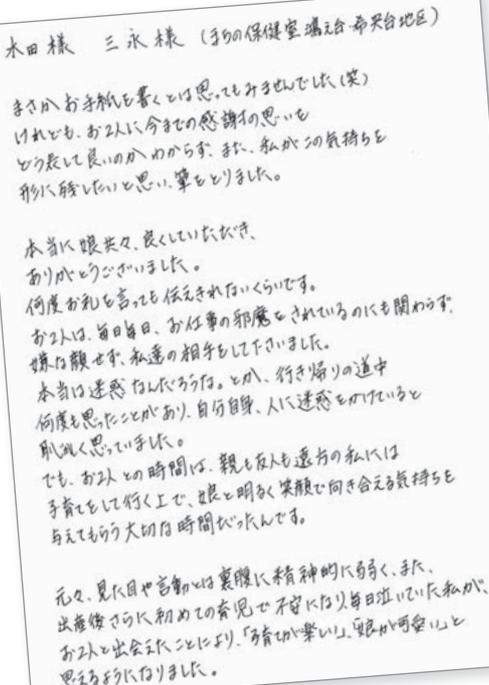
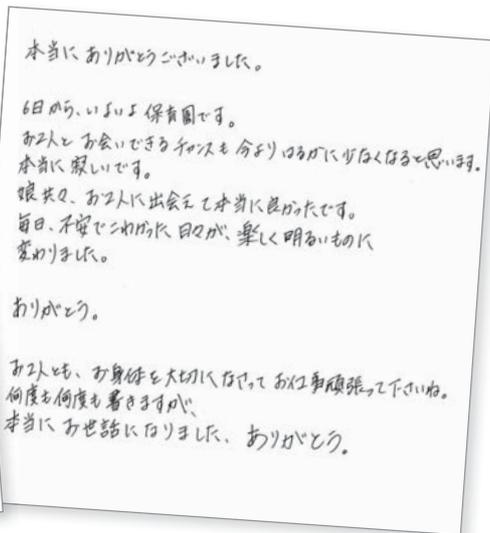
気軽に立ち寄って 何でも話を聞かせてください

ママたちへの積極的な声掛け

鴻之台・希央台は、新しい住宅地で若い転入者も多く、他の地域よりも、子育て世代に対しての見守りが必要としている地域です。そこで、地域の広場「さらさらひろば」に毎回スタッフとして参加して、まずはママたちに顔を覚えてもらうことから始めました。広場では、できるだけたくさん

ママたちに声を掛けています。広場に参加するママを毎回見ていると表情が違ったり、雰囲気が変わったりする時があります。そういったときには「最近どう？ ういっただきには」「最近どう？ しんどくない？」などと声を掛けています。日ごろ一人で子育てを頑張っているママの中には辛くて涙を流す人もいます。そんな子育てに対するママの不安を少しでも取り除け

子育て中のママから届いた感謝の手紙



たらと思っています。初めての出産で、すごく不安がついてきたママが、何でもまちの保健室に来てくれ、だんだん笑顔が見られるようになりました。そして本人から感謝の手紙をいただきました。

きました。とても嬉しかったですし、寄り添うことの必要性和重要性をあらためて感じました。まちの保健室は、散歩や買い物について、広場に参加したときなどに、気軽に立ち寄っていただけの場所です。子育ての悩みや不安はもちろん、愚痴など何でも聞かせてください。

育児を応援する施設

24時間365日の医療体制 小児救急医療センター

名張市立病院 / 百合が丘西 1-178
☎61-1100 (代表)



対象 入院など二次救急医療を必要とする次に該当する中学生以下の子ども

- ▼救急車で搬送された子ども
- ▼市内の医療機関や応急診療所から紹介された子ども
 - ※市内の医療機関、応急診療所が診療していない時間帯は、事前に市立病院にお電話ください。症状などをお聞きした上で受け入れを行います。
 - ※けがや交通事故など外科系疾患は除きます。また病状により必要と判断した場合は、救急当番病院や三次医療機関などに搬送します。

◆コンビニ受診とならないようにご協力をお願いします。



病気の子どもの保育 病児・病後児保育室

みらいのこどもクリニック / 希央台4-2 2階
☎48-6328



対象 次の全ての条件を満たす子ども

- ▼保育所(園)・幼稚園、小学校などに通う3年生以下の子ども
- ▼病気中もしくは病気の回復期で、集団保育などが困難な子ども
- ▼保護者が就労などで、家庭で保育を受けることが困難な子ども
 - ※病気の種類や内容により、利用できない場合があります。

開室時間 午前9時～午後6時(木曜日は正午まで、土曜日は午後5時まで) / 小児科の休診日は休室

利用料 1回1,000円(布団、飲み物など別途実費負担あり)

持ち物 健康保険証、印鑑、医師連絡票など

申込 当日午前8時以降に、電話で問い合わせ先へ(定員3人)

